

携帯電話を活用した情報モラル授業作り

宮城県岩沼市立岩沼小学校 教諭 及川 浩市

k_oikawa@iwasho.myswan.ne.jp

宮城県岩沼市立岩沼小学校 教諭 加藤 琢也

kato@iwasho.myswan.ne.jp

キーワード：携帯電話，インターネット，情報モラル

1. はじめに

携帯電話は、いつでもどこでも情報を得ることができたり、誰とでも連絡をすることができたりする非常に便利な道具です。今やインターネットと共に私たちの生活に欠かすことのできないツールになってきています。しかし、誤った使い方をすると、心ない一部の人々が巻き起こす事件やトラブルに巻き込まれたりします。特に好奇心旺盛な児童生徒はその標的になりつつあります。

本ワークショップは、ワンクリック詐欺、なりすましメール、チェーンメール等、児童生徒が実際に巻き込まれるおそれのある事例を模擬的に体験出来るインターネット上のサイト及び携帯電話用サイトを活用します。そして、そのサイトを体験しながら、どのような授業をすることができるかを考える授業作りワークショップです。

2. ワークショップの実際

2.1 校種 学年 単元： 中学校 3年生 特別活動 「チェーンメール」

2.2 題材のねらい：

チェーンメールを送ることによって、多くの人に迷惑をかけ、自分が加害者になることを理解し、チェーンメールを止める勇気を持つ必要があることを考える。

2.3 ワークショップの流れ

時	学習内容	備考等
0	1. 本ワークショップの趣旨説明 ○実践事例報告 ○本日の流れ	○2～3人でグループを組む ○あらかじめグループ毎に携帯を配布する。 ○及川，加藤が教師役になり授業を進める。
10	2. ワークショップ (1) 模擬授業を受ける ○中学校 3年 特別活動 「チェーンメール」 ・良い内容のチェーンメールが来たとき，送信するか考える。 ・悪い内容（怖い内容）のチェーンメールが来たとき，送信するか考える。 ・怖い内容のメールを参加者5人へ送信する。 ・5人に送信した後12時間後のメール数を計算する。 ・メール送受信の仕組みについて調べ，止めても大丈夫であることを理解する。 ・大量のメールが一斉に送信された場合の，メールサーバーへの負荷について調べ，大きな迷惑をかけることを理解する。	○20分程度の授業とし，参加者が中学生になったつもりで，実際に授業を受ける。 ・教師から各携帯に一斉に怖い内容のメール及び良い内容のメールを送る。 ・ワークシートに自分の考えを書き込みながら学習を進める。 ・実際に各グループの持っている携帯5台に，そのメールを送信（転送）する。 ・グループ毎に電卓で計算をする。 ・メールの送受信の仕組みを知ることによって，たとえ止めても，誰が止めたかは分からないことを理解する。
30	・これからのチェーンメールに対する心構えを考える。	・大量のメールが一斉に送信された場合の，メールサーバーへの負荷について調べ，大きな迷惑をかけることを理解する。
40	(2) 他の内容を携帯体験シュミレーションで体験する ○ワンクリック詐欺，なりすましメール等他のサイトを体験し，その中から一事例を取り上げる。	○選んだ事例を活用した，授業作りをする。
55	(3) 授業を作ろう ○その事例についての授業内容を考える。 ○作成した授業を発表する。	○校種，学年，教科を考えて作成する。 ○プレゼンソフトにフォーマットを用意しておき，それに書き込む。

3. 実践事例

3. 1 校種 学年 単元 小学校 4年生 道徳 相手の身になって 「チェーンメールを出すと…」
4-(1) 公德心

3. 2 ねらい

- ①チェーンメールを送ることによって、自分が加害者になり、多くの人に迷惑をかけることを理解する。
- ②チェーンメールを止める勇気を育てる。

3. 3 学習過程

時	学習内容	留意点
0	1. 携帯電話の「良さ」「手軽さ」等について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に家族に聞きながら、その光の部分について考える。 ・グループに1台の携帯電話を用意する。
5	2. 怖い内容(いやな内容)のチェーンメールが来たとき、送信するか考える。 ・その内容を見て、ワークシートに素直な自分の考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師から一斉に怖い内容のメールを送る。 ・なぜ送るのか?なぜ送らないのかをはっきり書かせ、発表させる。
15	3. 良い内容(幸せになる内容)のチェーンメールが来たとき、送信するか考える。 ・その内容を見てワークシートに素直な自分の考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師から一斉に良い内容のメールを送る。 ・なぜ送るのか?なぜ送らないのかをはっきり書かせ、発表させるとともに、悪い内容の時と良い内容の時の印象の違いも考えさせる。
25	4. 怖い内容のメールを他の携帯電話5台に送る。 ・次々のメールがやってくることを体験する。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に各グループの持っている携帯5台に、そのメールを送信(転送)する。
30	5. チェーンメールを友達に送信すると、そのメールがどんどん増え、自分にもたくさん帰ってくることを体験する。 ・チェーンメールごっこをする。 ・5分間で集まったカードの量を比べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・カード(怖いメールの内容を書いたカード)を多数用意する。 ・誰かにカードをもらったら、別な友達5人にカードを渡す。 ・5分ぐらいをめどに続けさせる。
40	6. メールの仕組みについて先生の話聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師のプレゼンにより、その仕組みを説明する。 ・メールの送受信の仕組みを知ることによって、たとえ止めても、誰が止めたかは分からないことを理解する。
45	7. 今日体験したことから考えたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・たとえ良い内容のメールでも、もらった相手にとっては迷惑になること、また一通のメールが多くの人々に迷惑を及ぼしていることを考えさせる。 ・チェーンメールを止める勇気を持つことを ・携帯の影の部分の一事例を理解する。

